

訓練室だより

第5号

平成28年
11月1日
発行

発行者

福祉プラザ台東清峰会
東京都台東区清川
2-14-7
代表：03-5824-5630



業務報告

「手作り福祉道具について」
リハビリや機能訓練という言葉
を聞くと、マッサージをしたり一緒
に歩いて歩行練習をしたりという
印象が強い方もいらっしゃると思
います。週1〜2回やってもなか
なか効果はでません。普段の日常生
活の動作を手伝ってもらいながら
でも、なるべく自分でやるのが大
変重要なことなのです。訓練といっ
ても私たちは普段の生活だけでは
足りないところを補うためにお手
伝いしているだけなのです。

できるだけ自分でやろうとした
ときに、「テーブルの高さに合わせ
ると足が床につかなくなってしまう」
「もう少し顔を上げることがで
きたら安全にご飯を食べることが
できるのに」などもう少しこうだっ
たら・ああだったら自分ができるの
に・安全なのにといいことが出てく
ることがあります。こういった場
合、福祉道具を手作りで作成して利
用者様のできることを増やしたり、
安全面を高めています。

今回はその「手作り福祉道具」に
ついてお話ししていきますが、複数あ
りますので今回は足台について説
明します。



雑誌で作った手作りの足台



車椅子の後輪の下に足台挿入
後ろに倒れやすい方を前かがみの姿
勢にしやすくするための台として



車椅子の前輪の下に足台挿入
前に倒れやすい方を後ろに寄り
かかりやすくするための台として



足の下に足台挿入
足が床につかない方の補高台として

同じ足台でも目的が異なると違った使
い方ができます。私たちは、利用者様の
身体の動きや姿勢、食事時の様子などを
観察し評価した上で足台を使い分けてい
ます。

特集記事

第2回ほうらい秋祭り

十月二十二日(土)に1階地域交
流スペースにて第2回ほうらい秋
祭りが開催されました。当日の天
気はあいにくの雨でしたが、利用
者様とご家族や地域の皆様に参加
されて大盛況となりました。地域
交流スペースに、綿菓子、ポップ
コーン、焼きそば、フランクフル
ト、チョコバナナ、輪投げ、ヨー
ヨー釣り、魚釣りなどの模擬屋台
が並び、模擬屋台の調理や店員を
地域やご家族の皆様がボランティア
アで手伝ってくださいました。お
かげさまで、皆さんおいしそうに
屋台の料理を食べながら、屋台の
ゲームや舞台の余興を楽しまれて
いました。利用者様からは、昨年
の第1回のほうらい祭りの時より
も賑やかになったと、大好評を得
ることができました。

舞台では、午前中は障がい事業
所の利用者様による音楽活動の発
表が行われ、午後は和太鼓の演奏
やダンス、職員有志によって構成
される「ほうらい音楽隊」の生演
奏などが行われました。



射的を楽しむ利用者様

午前中の障害事業者の利用者
様による音楽活動の発表では、
日中活動の音楽療法や音楽レク
レーションの時間に練習をした
歌や手話、ハンドベルやトーン
チャイムの演奏が行われまし
た。皆さん、沢山の観客を前に
して緊張しながらも、日頃の練
習の成果を一生懸命発表してく
ださいました。

午後に行われた「和太鼓
[MAHO]」による太鼓の演奏では、
力強い和太鼓の音を肌で体感す
ることができ、利用者の皆様も
太鼓を叩いて演奏に参加するこ
とができました。



花笠音頭を踊る職員



余興に参加した職員

職員有志によって構成される「ほ
うらい音楽隊」は、「東京ラブソデ
ー」恋のバカンス」「川の流れる
ように」など昔懐かしの曲を演奏
し、観客の皆様もその演奏に合わせ
て、楽しそうに唄っていました。
私たち機能訓練指導員も、介護職
やケアマネージャー、管理栄養士な
ど他職種の職員と一緒に「花笠音
頭」を踊らせていただきました。
日々の業務の中で、なかなか一緒に
練習する時間を作ることができま
せんでしたが、業務終了後などに一
生懸命練習して、なんとか振り覚え
え、披露することができました。そ
の成果があったのか、本番では大喝
采？をいただくことができました。

編集後記 ※上段中央の写真は第2回ほうらい秋祭りの様子です。
今回、「ほうらい秋祭り」を成功させるために、普段、別の事業所
や他部門で働いている職員が協力し合って取り組んだことによっ
て、新たな連携を築くことができました。今後も機能訓練部門とし
ては、利用者様が喜んでくださる行事作りには、他職種の職員と連携
しながら取り組んでいきたいと考えています。